

視聴覚教育時報

No.745 2024年 8月号

contents

- ▽令和6年度全視連「視聴覚教育功労者」5名が決定
- ▽令和6年度 全視連調査研究について
- ▽令和6年度 全国公立視聴覚センター連絡協議会総会について
- ▽令和5年度の廃棄・移管届けの提出総数の内訳について
- ▽えすけーぷ

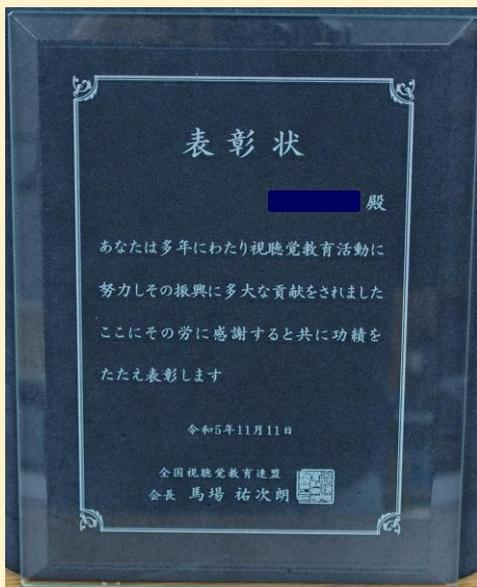
▽令和6年度全視連「視聴覚教育功労者」5名が決定

各都道府県・指定都市教育委員会および各加盟団体の推薦により、令和6年度第27回全国視聴覚教育連盟「視聴覚教育功労者」が、7月23日回答期限の文書選考委員会による審議の結果、地域の社会教育等における視聴覚教育の推進に功績のあった5名の方々に決定しました。

本表彰は平成10年度に開始され、本年度で

27回目を数え、今回の5名の決定により総数347名の方々が授与されたこととなります。

なお、表彰式は例年「視聴覚教育総合全国大会・放送教育研究会全国大会」にて執り行っていますが、令和6年11月9日に開催の同大会はオンライン開催となったため表彰式は執り行わないこととなりました（全国大会の全体会で各団体の功労者を発表します）。



■山形県・折原由美子（おりはら ゆみこ）

昭和47年、公立小学校に奉職。平成12年から現在まで24年間にわたり自作した紙芝居を視聴覚教材として積極的に活用し、幼稚園や学校、高齢者施設等で上演するなどの社会教育活動を行ってきた。その作品は、郷土の歴史・文化をテーマにしたものが多く、地域での丁寧な取材により的確に構成された作品は、全国自作視聴覚教材コンクールにおいても高い評価を受けている。平成29年からは「山形紙芝居研究会」を設立して代表を務め、山形県立図書館「紙芝居の広場」等での実演による視聴

覚教材の活用により子供たちや住民の学びを深め、郷土愛の醸成に寄与している。

■茨城県・益子直之（ましこ なおゆき）

平成26年4月から4年間大子町教育委員会指導主事として勤務し、町のICT活用の充実や施設・備品の改善に尽力した。平成30年から6年間は、茨城県視聴覚教育振興会役員・茨城県視聴覚教育ボランティア委員として入会し、各種研修会の運営に携わり、学校教育及び社会教育の指導者育成に尽力した。また、毎年、自作教材発表会を企画運営し、児童生徒や教員、その他地域で活躍する人たちの情報共有やレベルアップに貢献した。茨城県視聴覚教育ボランティア委員として、県生涯学習課企画の映画、放送、ビデオ、コンピューター、デジタル写真等の活用に係る研修会での指導・助言等にボランティアとして協力している。

■群馬県・山口 廣（やまぐち ひろし）

昭和56年に公立学校教員として奉職、すぐに16ミリ映写操作技術の認定を受け、学校で16ミリ映画などを上映するなど、技術を生かした教育活動を行った。生涯学習センターでは展示物を視聴覚機材を活用した体験型科学展示にし、県民に視聴覚の有効性を紹介した。また、同センターのWebページを開設し公開することで、生涯学習センターの取組やイベントの開催について広く県民に伝えることに貢献した。平成14年から8年間、群馬県公立学校・教頭在任中は情報教育部会副部会長として、情報教育の普及に努めるとともに、村民パソコン講座の講師として、デジタルカメラを使った

プレゼンテーションづくりを指導し、村民の情報技術向上に貢献した。

■岐阜県・佐藤光司（さとう こうじ）

昭和43年に国鉄中津川駅に就職し、入社後先輩から社会教育を指導され16ミリ映写機の取り扱いをはじめ、写真撮影・スライド等を趣味にしていた。平成3年に中津川市議会議員選挙に当選（2期目）したことを機会に「中津川視聴覚クラブ」に入会して以降、現在まで33年間にわたり、福祉関係の施設や子供会活動にも参加し、夏休みの「子供映画会」などに協力するなど、精力的に活動して、現在は会長として活動している。その間、クラブの仲間と共に、福祉施設・老人ホーム等でボランティア活動などを行ってきた。平成19年2月、岐阜県教育委員会教育長表彰を受賞。

■愛知県・谷 知令（たに ともりのり）

昭和58年、一宮市内で教育映画などの製作・配給を行っていた中部日本教映株式会社に就職。以来41年間、同社にて教育映画の配給・販売に取り組み、交通安全や防災用のVHS・DVDの普及にも力を入れ、近年は上映用のDVD・ブルーレイの販売にも注力している。出張映写も行っており、市民会館での映画上映も請け負ってきた。また、個人として16ミリフィルムの技術者組織「一宮市AV技術者の会」に所属し、会員として、公民館での巡回映画会や子ども会・老人会等の依頼を受けた上映会を実施するなど、公私ともに地域の視聴覚教育の普及・発展に大いに貢献している。平成7年には同社の代表取締役役に就任。

▽令和6年度 全視連調査研究について

今年度の調査研究についてのテーマは、「オンラインネットワークを利用した16ミリ活用策提言にむけた調査研究」（新規）とし、担当専門委員を割り当てて実施することとなりました。

1. ねらい

令和5年度のオンライン交流会において、各視聴覚センター・ライブラリーが16ミリフィルムの利活用に様々な課題を抱えていること

が話し合われた。これを受けて、オンラインネットワークを活用した解決策の検討と提案を行う。

* 調査研究のためのオンラインセミナーを視聴覚教育総合全国大会において実施する。

2. 調査研究の柱立て

①16 ミリフィルムの活用状況

(1) 令和5年度ライブラリー一覧の結果から、16 ミリフィルムの貸し出し状況、映写機の保有状況、貸出状況を分析する(各専門委員の分析をまとめる)。

(2) 活用している施設の事例分析(4 か所、各専門委員1 か所を分担、県と市各2 か所)

○事例分析施設

・埼玉県視聴覚ライブラリー

担当：塩野谷委員(春日部市教育委員会視聴覚センター)

・かごしま県民大学中央センター

担当：村上委員長(全国視聴覚教育連盟)

・宇都宮市立視聴覚ライブラリー

担当：神委員(岩手県教育委員会事務局盛岡教育事務所)

・川崎市視聴覚センター

担当：大塚委員(千葉県総合教育センター)

②16 ミリ映写機の延命策の検討

(1) 16 ミリ映写機を保有している施設を対象にアンケートを行い、どのような取り組みをしているかを明らかにする(アンケートの作成と分析を専門委員で協力して行う)。

(2) 実際に取り組みされている内容を踏まえて、これから取り組むべき延命策を検討する

③16 ミリ映写機メンテナンスのためのネットワークづくりの検討。

(1) 延命策の検討の一つとして、部品の相互提供などのネットワークづくりの検討を行う。

(2) ネットワークづくりの検討の一つとして全国大会でのセミナーのまとめを掲載する。

(3) ネットワークづくりの試案を提示して実現可能性を探る。

▽令和6年度 全国公立視聴覚センター連絡協議会総会について

例年、全国大会開催の折に実施している同総会は、大会が本年の11月9日(土)に開催ということと、大会自体がオンラインで行われるため、文書により実施いたしました。

各加盟センター所長宛に文書を7月9日付けで発送し、7月22日を期限として議案承認書をご回答いただき、全議案について承認をいただきまいした。また新役員についても下記のように承認いただきました。

<議案>

第1号議案 令和5年度事業報告書(案)・収支決算報告書(案)

第2号議案 令和6年度事業計画書(案)・収支予算書(案)

第3号議案 役員選任(案)

<令和6年度 全国公立視聴覚センター連絡協議会役員>

幹事長 村上 長彦 氏(全国視聴覚教育連盟専門委員長)

副幹事長 白戸 明子 氏(青森県総合社会教育センター所長)

常任幹事 若月 隆雄氏(新潟県立生涯学習推進センター次長)

常任幹事 酒井 誠一氏(千葉県総合教育センター所長)

監 事 中里 恭一 氏(山形県北村山視聴覚教育センター所長)

監 事 小幡 拓 氏(仙台市教育局生涯学習課課長)

(アンダーラインの方々は新任)

▽令和5年度の廃棄・移管届けの提出総数の内訳について

平成 23（2011）年度より、視聴覚ライブラリー所有の視聴覚教材を廃棄や移管する場合に権利者団体に通知することとなり、昨年度で 13 年目を迎えました。

昨年度 1 年間に 17 の視聴覚センター・ライブラリーより廃棄・移管届けが当連盟に提出され、その内訳は次の通りです。

<廃棄届け>

- ・16 ミリ 1,126 本
- ・ビデオ/DVD 3,849 本

<移管届け>

- ・16 ミリ 15 本
- ・ビデオ/DVD 486 本

	廃棄届け		移管届け	
	16ミリ	ビデオ・DVD等	16ミリ	ビデオ・DVD等
Aライブラリー		701		
Bライブラリー	4			
Cライブラリー	1			
Dライブラリー				26
Eライブラリー				136
Fライブラリー	941	2,328	13	
Gライブラリー			1	13
Hライブラリー		2		
Iライブラリー			1	
Jライブラリー				12
Kライブラリー	156			
Lライブラリー		10		
Mライブラリー		23		
Nライブラリー	24			
Oライブラリー		1,126		299
Pライブラリー		358		
Qライブラリー		2		
	1,126	3,849	15	486

令和5年度 廃棄・移管届け提出数

	届出AVL数	廃棄届け		移管届け	
		16ミリ	ビデオ・DVD等	16ミリ	ビデオ・DVD等
2011	4	135	61	0	0
2012	7	217	325	122	26
2013	8	971	957	257	555
2014	17	2,161	180	597	1,034
2015	15	222	815	497	653
2016	14	2,014	970	626	3,124
2017	15	2,319	1,572	539	1,202
2018	10	484	1,788	1,186	2,664
2019	12	1,166	1,022	612	0
2020	14	1,952	3,672	15	668
2021	17	4,027	6,278	522	1,098
2022	16	2,100	1,569	489	5,273
2023	17	1,126	3,849	15	486
	166	18,894	23,058	5,477	16,783

2011年～2023年度までの廃棄・移管届けの総数

▽えすけーぷ

マグネティック・テープ・アラートという言葉をご存じでしょうか。ユネスコ（国連教育科学文化機関）が2019年に発表した磁気テープに関する警告のことになります。

これは、2025年までに磁気テープをデジタルファイル化しなければ、永遠にデータが失われかねない、という警告です。2025年のある日になると突然磁気テープのデータが消えるという訳ではありませんし、なぜ2025年なのかという疑問は残りますが、理由としては以下のようなことが挙げられているようです。

1 磁気テープや再生機器の生産や保守サービスが終了、2 テープや再生機器の劣化が進み再生が困難になる、3 磁気テープや再生機器の技術者が高齢化してノウハウの継承が難しい、など。

元々、磁気テープに記録された情報の寿命は「15年～20年」あるいは「20年から30年」とも言われていたり、湿気が原因でビデオテープにカビが発生したり長年にわたり保存されたテープは、歪みや磁気転写などで劣化するという問題があります。保存にあたっては、密閉、巻き戻し、立てた状態での保存や長期間放置していると磁気転写がおこりノイズが入る場合があるため、年に1度は、早送り・巻き戻しが必要ともいわれています。

VHS方式のビデオデッキを国内企業で唯一生産継続していた船井電機が2016年7

月末で生産を終了していますので、再生機器の寿命も深刻な問題です。

磁気テープが痛む前に、再生機器が使用できるうちにデジタル化するということが残された道となるということをマグネティック・テープ・アラートでは警告していますが、視聴覚ライブラリーで所蔵するVHSテープの大半は市販のパッケージで、視聴覚ライブラリーの判断でデジタル化することはできません。

全視連として視聴覚ライブラリーのビデオテープの購入に関して（社）映像文化製作者連盟や（社）日本映像ソフト協会、（社）日本映画製作者連盟と覚書や協定を結んできましたが、製作元や販売元でのデジタル化が進んでいるという話は聞こえてきませんので、視聴覚ライブラリーでのデジタル化に関しての協議を進めることが求められるのではないのでしょうか。

また、各視聴覚ライブラリーでは、自作のビデオ教材がある場合は、早急にデジタル化に取り組むことが必要になるのではないのでしょうか。

特に自作教材は、他のどこにもない映像記録です。映像記録をアーカイブするという働きを視聴覚ライブラリーの大きな役割として取り組んでいただければと期待しています。

（T. M）

全国視聴覚教育連盟

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-10-11 虎ノ門PFビル

TEL：03-3431-2186 / Fax：03-3431-2192

HP：<http://www.zenshi.jp/>

Mail：info@zenshi.jp

東映 教育ソフト Line-up!

道徳・平和教育

おばあちゃんは認知症 **最新作** ～お兄ちゃんからの手紙～

認知症のおばあちゃん、部活動も勉強も上手いかず自分を見失っていた中学生の男の子とその家族、先の戦争で若くして亡くなったおばあちゃんの兄たちが登場する物語を通して、認知症の人との接し方・相手を思いやることの大切さ・平和の尊さを伝えます。(約15分)



77,000円(税込)
字幕・副音声版付き 学校特別価格 38,500円(税込)

お父さんへの千羽鶴

ともえちゃんのお父さんは特攻隊員でした。千羽鶴に託された家族の祈りと、二度と帰れぬお父さんの想い。愛する家族と国を守るために亡くなったお父さんの姿から、平和の尊さ、家族の絆の大切さを子供たちに伝えます。(約14分)



原作 ときたひろし「お父さんへの千羽鶴」(展転社)
77,000円(税込)
字幕版付き 学校特別価格 38,500円(税込)

小学校道徳・特別活動・防犯

小学生の情報モラル教室 スマホを正しく活用しよう!

1巻 学ぼう! スマホのトラブルを防ぐマナーとルール

令和6年度優秀映像教材選奨 最優秀作品賞(文部科学大臣賞)

2巻 考えよう! スマホを使った上手なコミュニケーション

令和6年度優秀映像教材選奨 優秀作品賞

1巻で「スマホと個人情報の守り方」「ネットの課金トラブル」「スマホ依存症」、2巻で「ネットいじめ」「SNSでの出会い」のテーマを取り上げ、それぞれドラマ編と解説編で構成。子供たちに、ドラマの中の出来事を自分だったらどうするかを考えさせ、トラブルにつながる行動の自覚を促し、正しい判断力が育成されることを狙いとします。(1巻 約24分 2巻 約23分)

各巻 77,000円(税込) 2巻セット価格 143,000円(税込)
学校特別価格各巻 38,500円(税込) 2巻セット学校特別価格 71,500円(税込)



中学校道徳・人権啓発

国際理解・国際貢献を考える ～台湾との絆～

令和6年度優秀映像教材選奨 優秀作品賞

東日本大震災での支援や、新型コロナウイルスへの対策など、日本と台湾は困った時に協力し合ってきました。このような日本と台湾の絆を関係者のインタビューを交えて紹介し、国際理解・国際貢献について考えていきます。(約14分)



77,000円(税込)
字幕版付き 学校特別価格 38,500円(税込)

障害のある人の気持ち 私たちの一歩

令和6年度優秀映像教材選奨 優秀作品賞

中学生たちに車いすに乗ってもらい、車いすでの生活にはどのような困難や危険があるのか体験します。また、パラスリートの方へのインタビューから、どんな手助けが必要とされているのか、私たちに何ができるのか考えていきます。(約18分)



77,000円(税込)
字幕・副音声版付き 学校特別価格 38,500円(税込)

お問い合わせ・チラシ請求は



東映株式会社 教育映像部

〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17

☎ 03 (3535) 3631 FAX03 (3535) 3632

予告編配信中

教育映像 検索



<https://www.toei.co.jp/entertainment/education/index.html>

他にも幅広い商品
ラインアップを
取り揃えております!



<https://dramatic-study.toei.co.jp>



<http://www.toei.co.jp/edu/>